

実務経験にある教員等による授業科目の一覧表

課程名	学科名	学年	授業科目	授業 時間 数	実務経験に ある教員による 授業科目	シラ バス	備考
教育・社会福祉専門課程	こども未来本科	2 年 課 程	保育体験Ⅰ	40	○	○	
			保育体験Ⅱ	40	○	○	
			保育所実習	80	○	○	
			施設実習	80	○	○	
			総時間数	240			
		4 年 課 程	保育体験Ⅰ	40	○	○	
			保育体験Ⅱ	40	○	○	
			保育所実習	80	○	○	
			施設実習	80	○	○	
			小学校学習支援	40	○	○	
			学童保育実習	80	○	○	
			野外活動実践演習	90	○	○	
			話し合い活動実践演習	30	○	○	
			総時間数	480			

科目名	保育体験Ⅰ		教員名	西田 真由美	配当年次	1年生
実務教員	○	実務教員の紹介	幼稚園教諭Ⅰ種免許 保育士資格 小学校英語指導者資格			

1. 授業概要 (授業方法: 保育体験)

認可外保育所に関する知識・実習の意義やあり方と幼児理解を学ぶ。実習後は自己評価をし、自己の課題を知り将来の保育士としての自覚を得る。

2. 授業計画 (1日8時間×保育日数 5回＝総授業時数 40時間)

1	保育所の役割を理解する		
2	乳幼児の最善の利益について学び、幼児理解に努め実践する		
3	保育士の指導や援助、配慮を学び専門職を理解する		
4	保育環境構成を学ぶ		
5	全体的な計画と教育課程の重要性を学ぶ		
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

3. 評価方法

実習の出席率と態度30%
実習保育所からの評価60%
実習感想簿10%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領	厚生労働省 内閣府・文部科学省・厚生労働省	株式会社フレーベル館 株式会社フレーベル館

5. その他・特記事項

体験実習園Ⅰ(認可)と密に連携を図る。

科目名	保育体験Ⅱ		教員名	西田 真由美	配当年次	1年生
実務教員	○	実務教員の紹介	幼稚園教諭Ⅰ種免許 保育士資格 小学校英語指導資格			

1. 授業概要 (授業方法: 体験実習)

保育所に関する知識・実習の意義やあり方と幼児理解を学ぶ。実習後は自己評価をし、自己の課題を知り将来の保育士としての自覚を得る。
体験実習Ⅱ・・・チャイルドイングリッシュコースは英語の保育施設、カウンセリングコースは認可保育園での保育体験を行う。

2. 授業計画 (1日8時間×保育日数5回＝総授業時数40 時間)

1	各コースに応じた保育施設の実態を知り、園の役割を理解する		
2	乳幼児の最善の利益について学び、幼児理解に努め実践する		
3	保育士の指導や援助、配慮を学び専門職を理解する		
4	保育環境構成を学ぶ		
5	全体的な計画と教育課程の重要性を学ぶ		
6	チャイルドイングリッシュコースは英語の実践を体験する。		
7	カウンセリングコースは認可保育所での実践を体験する。		
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

3. 評価方法

実習の出席率と態度30%
実習保育所からの評価60%
実習感想簿10%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領	厚生労働省 内閣府・文部科学省・厚生労働省	株式会社フレーベル館 株式会社フレーベル館

5. その他・特記事項

保育体験施設との連携を図る。

科目名	施設実習		教員名	西田 真由美	配当年次	2年生
実務教員	○	実務教員の紹介	幼稚園教諭 1種免許 保育士資格 小学校英語指導資格			

1. 授業概要 (授業方法: 実習)

- ・社会福祉施設等の種類と役割を理解する。(児童福祉施設・児童養護施設・自立支援ホーム・児童心理治療施設・児童自立支援施設・児童家庭支援センター・障害児入所施設・福祉型児童発達支援センター・医療型児童発達支援センター)
- ・施設職員の仕事を知り、責務の重さを理解する。
- ・施設利用者の実態把握と心理状態を理解する。
- ・施設利用者との関わり方を学ぶ。
- ・施設職員との連絡を密に図り、施設利用者の心身の発達を豊にする。
- ・施設実習簿の記入方法を学ぶ。
- ・教職意欲の向上

2. 授業計画 (1日8時間×施設実習日数10日＝総授業時数 80 時間)

[illegible]

3. 評価方法

- 実習の出席率と態度20%
実習保育所からの評価60%
実習簿記入20%

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
保育所保育指針	厚生労働省	株式会社フレーベル館
幼保連携型認定こども園教育・保育要領	内閣府・文部科学省・厚生労働省	株式会社フレーベル館
幼稚園教育要領解説	文部科学省	株式会社フレーベル館
考え、実践する 施設実習	浦田 雅夫	保育出版社

5. その他・特記事項

- 施設実習園と密に連絡を図る。

科目名	保育体験Ⅰ		教員名	西田 真由美	配当年次	1年生
実務教員	○	実務教員の紹介	幼稚園教諭Ⅰ種免許 保育士資格 小学校英語指導者資格			

1. 授業概要 (授業方法: 保育体験)

認可外保育所に関する知識・実習の意義やあり方と幼児理解を学ぶ。実習後は自己評価をし、自己の課題を知り将来の保育士としての自覚を得る。

2. 授業計画 (1日8時間×保育日数 5回＝総授業時数 40時間)

1	保育所の役割を理解する		
2	乳幼児の最善の利益について学び、幼児理解に努め実践する		
3	保育士の指導や援助、配慮を学び専門職を理解する		
4	保育環境構成を学ぶ		
5	全体的な計画と教育課程の重要性を学ぶ		
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

3. 評価方法

実習の出席率と態度30%
 実習保育所からの評価60%
 実習感想簿10%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領	厚生労働省 内閣府・文部科学省・厚生労働省	株式会社フレーベル館 株式会社フレーベル館

5. その他・特記事項

体験実習園Ⅰ(認可)と密に連携を図る。

科目名	保育体験Ⅱ		教員名	西田 真由美	配当年次	1年生
実務教員	○	実務教員の紹介	幼稚園教諭Ⅰ種免許 保育士資格 小学校英語指導資格			

1. 授業概要 (授業方法: 体験実習)

保育所に関する知識・実習の意義やあり方と幼児理解を学ぶ。実習後は自己評価をし、自己の課題を知り将来の保育士としての自覚を得る。
体験実習Ⅱ・・・チャイルドイングリッシュコースは英語の保育施設、カウンセリングコースは認可保育園での保育体験を行う。

2. 授業計画 (1日8時間×保育日数5回＝総授業時数40 時間)

1	各コースに応じた保育施設の実態を知り、園の役割を理解する		
2	乳幼児の最善の利益について学び、幼児理解に努め実践する		
3	保育士の指導や援助、配慮を学び専門職を理解する		
4	保育環境構成を学ぶ		
5	全体的な計画と教育課程の重要性を学ぶ		
6	チャイルドイングリッシュコースは英語の実践を体験する。		
7	カウンセリングコースは認可保育所での実践を体験する。		
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

3. 評価方法

実習の出席率と態度30%
実習保育所からの評価60%
実習感想簿10%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領	厚生労働省 内閣府・文部科学省・厚生労働省	株式会社フレーベル館 株式会社フレーベル館

5. その他・特記事項

保育体験施設との連携を図る。

科目名	施設実習		教員名	西田 真由美	配当年次	2年生
実務教員	○	実務教員の紹介	幼稚園教諭 1種免許 保育士資格 小学校英語指導資格			

1. 授業概要 (授業方法: 実習)

- ・社会福祉施設等の種類と役割を理解する。(児童福祉施設・児童養護施設・自立支援ホーム・児童心理治療施設・児童自立支援施設・児童家庭支援センター・障害児入所施設・福祉型児童発達支援センター・医療型児童発達支援センター)
- ・施設職員の仕事を知り、責務の重さを理解する。
- ・施設利用者の実態把握と心理状態を理解する。
- ・施設利用者との関わり方を学ぶ。
- ・施設職員との連絡を密に図り、施設利用者の心身の発達を豊にする。
- ・施設実習簿の記入方法を学ぶ。
- ・教職意欲の向上

2. 授業計画 (1日8時間×施設実習日数10日＝総授業時数 80 時間)

[illegible]

3. 評価方法

- 実習の出席率と態度20%
実習保育所からの評価60%
実習簿記入20%

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
保育所保育指針	厚生労働省	株式会社フレーベル館
幼保連携型認定こども園教育・保育要領	内閣府・文部科学省・厚生労働省	株式会社フレーベル館
幼稚園教育要領解説	文部科学省	株式会社フレーベル館
考え、実践する 施設実習	浦田 雅夫	保育出版社

5. その他・特記事項

- 施設実習園と密に連絡を図る。

2025年度 小学校教員 専門課程 こども未来本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	小学校学習支援		喜屋武光代	配当年次	3年
実務教員	○	実務教員の紹介	公立小学校にて32年勤務 教諭20・教頭8・初任者指導3・特別支援担当1年		

1. 授業概要 (授業方法: 実習)

授業のテーマ

小学校の授業に学習支援者として参加し、授業担当教諭の児童に対する指導方法や授業外での児童との関わり方を参考にしながら学習支援を行うことにより教職に対する興味関心が深まるとともに、教職に対する理解を深める。

授業の概要

希望する小学校での学習支援を行う。実習の形態は1日4時間の10日間及び事前指導・事後指導

2. 授業計画 (実習1時限45分×4授業)×10日 40時間

1		24
2		25
3	1オリエンテーション(実習小学校との打ち合	26
4	わせ)	27
5	○小学校の授業に入り、学習支援をしたり授業	28
6	を観察したりして指導方法やこどもの実態を知	29
7	る	30
8	○支援内容は各学校によって違いがあるが、主	31
9	な学習支援として行っている活動は、以下のと	32
10	おりである。	33
11		34
12	・計算問題の解答(○付け)	35
13	・漢字学習の解答(○付け)	36
14	・図工活動における補助(ノコギリ、ハサミ、	37
15	彫刻刀等使用時)	38
16		39
17	・体育活動における補助(器械運動・水泳・陸	40
18	上競技等)	41
19	まとめ(お礼状・実習記録簿の整理)	42
20		43
21		44
22		45
23		

3. 評価方法

学習状況の確認: 実習先担当者の評価 実習記録簿の記載事項内容

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
信頼される教職員を目指して 沖縄県 沖縄県教職委員会懲戒処分の指針	沖縄県教育委員会	

2025年度 小学校教員 専門課程 こども未来本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	学童保育実習	教員名	喜屋武光代	配当年次	3年
実務教員	○	実務教員の紹介	公立小学校にて32年勤務 教諭20・教頭8・初任者指導3・特別支援担当1年		

1. 授業概要 (授業方法: 実習)

授業のテーマ

学童（児童クラブ）において担当職員の児童との関わり方を参考にしながら学童での活動を児童とともに行うことにより児童理解を深め、今後の教育活動に活かす。

授業の概要

希望する学童（児童クラブ）において活動内容を理解し、職員とともに活動を行う。

実習の形態は1日8時間×10日間＝40時間

2. 授業計画 (実習1日8時間)×10日 80時間(オリエンテーション・事後活動を含む)

1	オリエンテーション（実習学童（児童クラブ）との打ち合わせ）	24
2		25
3		26
4	○学童（児童クラブ）において活動を行うことにより	27
5	てこどもとの接し方、放課後の児童の実態を知る	28
6		29
7	○活動内容は各学童（児童クラブ）によって違いはあるが、主な活動内容は、以下のとおりである。	30
8		31
9		32
10	・宿題の支援（○付け）	33
11	・レクリエーションの参加	34
12	・お誕生会の準備	35
13	・体育的活動における補助（固定遊具・水泳）	36
14	・おやつ準備	37
15	・活動準備と片づけ	38
16		39
17		40
18		41
19		42
20		43
21		44
22		45
23		

3. 評価方法

学習状況の確認：実習先担当者の評価 実習記録簿の記載事項内容

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
信頼される教職員を目指して 沖縄県 沖縄県教職委員会懲戒処分の指針	沖縄県教育委員会	

2024年度 小学校教員 専門課程 こども未来本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	野外活動実践演習		教員名	喜屋武光代	配当年次	3・4年
実務教員	○	実務教員の紹介	公立小学校にて32年勤務 教諭20・教頭8・初任者指導3・特別支援担当1年			

1. 授業概要 (授業方法: 実習)

授業のテーマ
現代の子どもたちには、自然体験、集団活動、直接体験が不足していることが危惧されている。小学校教諭を目指す学生がこどもたちの自然体験活動を実施に向けて計画、準備、実施、振り返りの活動を通して野外活動の指導力を付ける。
授業の概要
自然体験活動に向けた施設職員との打ち合わせから活動計画の立て方、自然体験での注意事項などの学習を基礎にこども未来本科の学生とともにこども達の体験活動を指導できる素地を養う。

2. 授業計画 事前指導50分×8実習1時限45分×4授業×10日)事後指導50分×8 90時間

1	オリエンテーション (実習の主旨・内容・評価等に関する説明)	24	しおり作成10 (清掃分担表)
2	スケジュール確認	25	しおり作成11 (野外レク1ルール説明と準備)
3	スケジュール確認	26	しおり作成12 (野外レク2ルール説明と準備)
4	実習実地踏査 青少年自然の家での打ち合わせ	27	しおり作成13 (野外レク3ルール説明と準備)
5	活動内容調査1	28	しおり作成14 (体育館レク1ルール説明と準備)
6	活動内容調査2	29	しおり作成15 (体育館レク2ルール説明と準備)
7	活動内容調査3	30	しおり作成16 (歌集)
8	予算書の作成	31	しおり作成17 (バス座席表)
9	活動内容の決定1日目	32	しおり作成18 (記録1日目 記録2日目 実習を振り返って)
10	活動内容の決定2日目	33	宿泊学習実施申請書の作成
11	プログラム作成1日目	34	参加学生への説明会 こども未来本科学生全員
12	プログラム作成2日目	35	
13	係り編成	36～	青年の家職員との事前打ち合わせ
14	クラス編成	42	
15	部屋割り	42～	役割分担・買い物・事前準備
16	しおり作成1 (学習のねらい)	52	
17	しおり作成2 (活動場所の紹介・及び注意事項)	53～	レク準備 小道具 司会シナリオ
18	しおり作成4 (活動に向けた集団行動の規律)	60	
19	しおり作成5 (持ち物の確認)	61～	しおり印刷・製本 (学生用・教職員用)
20	しおり作成6 (クラス編成)	71	
21	しおり作成7 (係り活動内容)	72～	実践演習
22	しおり作成8 (バスレク内容)	88	
23	しおり作成9 (野外炊飯)	89・90	振り返り

3. 評価方法

学習状況の確認: 記録記載内容・アンケート等

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
玉城青少年自然の家パンフレット 玉城青少年の家利用者フォームページ 前年度の資料 小学校学習指導要領	文部科学省	

--

科目名	話し合い活動実践演習	教員名	初鹿野 修・喜屋武光代	配当年次	1～4年
実務教員	2名	実務教員の紹介	小学校教諭25年以上 管理職経験 10年		

1. 授業概要 (授業方法: 演習)

特別活動における「学級活動：話し合い活動」の演習として、学級会・学級活動(2)(3)・ディベート・場面指導を演習として、実践的に学ぶ

○到達目標 1 話し合い活動の基本的な手順を知る 2 教育現場で起きている諸問題についての話し合い活動ができる 3 諸課題に対して、ディベートを行うことにより、物事を論理的に整理し、意見をいうことができるようにする 4 いろいろな場面指導を通して、学校現場での子ども・保護者・同僚等への対応を学ぶ

2. 授業計画 (1時限 50分×授業回数)30時間

1	オリエンテーション・特別活動とは、学級活動の内容
2	小学校教員としての話し合い活動の具体的な内容。演習長を決め、自主的演習とする
3	①学級活動(1)：議題を決めての話し合い活動の実践 ・学級に起こりうる議題の設定 ・司会の学び ・意見を言うことの学び ・その他 ②学級活動(2)(3)：日常生活や学習への適応等・一人ひとりのキャリア形成と自己実現に向けての意思決定 ③テーマを決めてのディベート活動の実践 ・喫緊の課題 ・論理性のある意見 ・ディベートの司会、評価ができる ④場面指導の自己の教育理念に沿った指導の実践 ・学校で起こりうる場面指導の演習 ・自分の教育理念に沿った指導 ・学び合いを通してほかの学生から学ぶ
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

3. 評価方法

出席率・授業態度・積極性等を総合的に判断する

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
特別活動指導資料・みんなでよりよい学級・学校生活をつくる特別活動	文部科学省	文溪堂

5. その他・特記事項

--